

## 英会話道場イングリッシュヒルズ

<コース名>

初級英会話

エレガント・レディース・イングリッシュ

Lesson Extraordinary

## 教室の諸規則

### 1 教室の概要

当・英会話道場イングリッシュヒルズは、「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガル」を養成する英会話教室です。教室のレッスンは、すべてプライベート・レッスン（完全個人指導）として行われ、レッスンはすべて、“Direct Method”（英語で英語を教える”直接教授法”）で行われます。

当教室では、常に、「品格のあるエレガントな英語」を教授することを精神基盤としています。言うまでもなく、真の意味で国際的に通用する英語とは、“スラングを頻繁に使うローカル英語”ではなく、世界中の教養人、文化人、あるいは、一般の常識人とコミュニケーションを図るときに必要とされる「品格のあるエレガントな英語」です。当教室においては、講師は、受講生の現在の英語力に応じて、少しずつ、そして、丁寧に、“国際的に通用するエレガントな英語”を教授しております。

すべてのレッスンは英語で行われますが、それぞれのレッスンは、「受講生ご本人における現在の英語力」に応じて最も適切な英語表現を使って行われます。レッスンは、ご本人の英語力に応じて進められますので、受講生は、無理なく、スムーズに学習を進めることができます。

### 2 レッスンについて

当教室のレッスンは、すべてプライベートレッスン（完全個人指導）として行われ、講師は、一人の受講生に対して、60分レッスンを週に1回（月に4回）のペースで行って

ます。講師は、常に、一つひとつのレッスンにおいて膨大なエネルギーを投じ、それぞれのレッスンを、「この上ない最高の時間的空間」とするべく、心を込めて丁寧にレッスンを行っています。

当教室のレッスンは、受講生の職業・年齢・性別等により、レッスン自体のクオリティー（質）を上げたり、あるいは下げたりすることは一切ありません。当教室は、いかなる受講生に対しても、すべて平等なスタンスでレッスンを行ってこそ、教室のあるべき秩序を保ち、且つ、よりクオリティーの高いレッスンを実現できるものと考えています。

当教室におけるすべてのレッスンは、長年、米国ペンシルベニア州ラフィエット大学の教壇に立ち、数多くのアメリカ人学生に対して講義を行ってきた、国内外で最高峰の英日バイリンガル講師・生井利幸が行います。原則として、当教室で行われるレッスンはすべて英語で行われますが、それぞれのレッスンは、常に、受講生の現在の英語力に応じて「最もわかりやすい英語」で行われます。

### 3 レッソンの復習について

レッスンにおいては、常に「宿題」が出ます。宿題は、基本的に、60分レッスンで学んだ学習内容の復習となります。言うまでもありませんが、かりに一つひとつのレッスンがどのように有意義なレッスンであったとしても、レッスン受講後においてその学習内容についてしっかりと復習しない限り、後に、レッスンで学んだことのほとんどすべてを忘れてしまいます。

学習内容を忘れることなく、しっかりと自分の心と体の中に浸透させるには、レッスン受講後、次のレッスンまでの間、毎日、継続的に復習していくことが必要不可欠です。当教室では、常に、以下の考え方を基として、受講生における英語力のアップグレードを図っています。

"Practice makes perfect." (日々の練習が、より良い成果を生む。)

"To continue is big power." (継続は力なり。)

### 4 レッスン日時の決定

レッスンは、常に、1ヶ月において、毎週1回（月に4回）とします。毎月におけるレッ

スン日時は、当該レッスン月の前月における第1回目のレッスン・スタート時に決定します。

受講生は、最初の面談において、講師と相談の上、「レッスンの時間枠」（例えば、毎週月曜日の18:00～19:00）を確保することができます。レッスン受講が開始した後は、当該レッスン月の前月における第1回目のレッスン・スタート時において、講師は、受講生に対して、その都度、翌月のレッスン日時について確認していきます。

この方法により、受講生は、レッスン月の前月からレッスン日時をしっかりと確保することが可能となり、受講生は、時間的にかなり余裕を持って、その他のスケジュール（仕事やプライベート）の調整をすることができます。

受講生は、この方法により、常に「自分の学習リズム」を維持することができ、無理なく、そして、安心して、「レッスン受講」と「レッスンの復習」をすることが可能となります。

## 5 レッスン日時の厳守

### ・・・「講師との約束を守る」ということの重要性

当該レッスンの前月において、講師と受講生の相談の上で決定したレッスン日時は、言うなれば、「一人の人間」と「一人の人間」の約束です。

国際的教養・品格を養う上で最も重要な精神基盤となる要素とは、「国際社会に存する一人の人間として、『社会常識・道徳・マナーを守る』」ということです。そして、言うまでもなく、「一人の人間として、『他人との約束を守る』」ということも、国際社会に生きる一人の人間として最も基本となる行為です。このことは、受講生自身が「英会話を学ぶ以前の問題」として極めて重要な問題、即ち、「一人の人間としての『モラル意識』『品性』」の問題といえるものです。

- \* 講師は、常に、たった一人の受講生だけのために、前月の初旬からレッスン時間枠を空け、その時間帯を維持するために、他の時間帯において相当な工夫を凝らし、「受講生と約束したレッスン時間」の維持のために最大限の努力を図っています。受講生においては、この点について十分な理解を得、国際社会に生きる一人の常識人として、「講師と約束したレッスン日時」を遵守するよう心掛けてください。

## 6 レッスンに遅刻する場合

何らかの理由により、教室への到着がレッスンのスタート時間に間に合わない場合には、事前に、その旨について電話でご連絡ください（メールは不可）。

たとえレッスンのスタート時間に間に合わない場合にでも、できる限り、レッスンに出席するように心掛けてください（”Practice makes perfect.”「日々の練習が、より良い成果を生む」）。

## 7 レッスンを欠席する場合

レッスンを欠席する場合は、電話でご連絡ください（メールは不可）。欠席したレッスンを他の日時に振り替えることはありません（詳しくは、5 レッスン日時の厳守をお読みください）。

## 8 学費

60分レッスンを、週に1回（月に4回）

入学金 無料

月謝 32,000円

\*テキスト代

その他、テキスト代として、レッスン・スタート時に、1,300円程度が必要。  
教室指定のテキストを、アマゾンで購入してください。

## 9 月謝のお支払い方法

当教室指定の銀行口座にお振込みください。

<お振込みの時期> 毎月、レッスン月の前月の15日まで

毎月の月謝は、レッスン月の前月の15日までに、下記の銀行口座にお振込みください。  
例えば、12月分のレッスンの月謝であれば、「前月の15日」、即ち、「11月15日まで

にお振込み」という形となります。

■銀行口座

三井住友銀行 銀座支店

<普通口座> 7761842

<口座名義> 英会話道場 イングリッシュヒルズ

## 10 講師への連絡方法

すべてのご連絡は、「電話」でお願いします。

当教室は、「コミュニケーションの真髄」を教授する教室です。当教室は、緊急の連絡、あるいは、その他の連絡も、すべて“実際の会話”で行ってこそ、真の意味で「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガル」として大きく成長できるものと考えています。

「大切な用件は、メールではなく、『電話』で伝える」、・・・受講生は、この事も、「教室のレッスンの一つ」として捉えてください。

電話での連絡は、日本語をお使いください。講師は通常、教室で電話を受けますが、不規則な時間帯、例えば、お昼時、アポイントメント等で外出している場合、あるいは、早朝・深夜の場合は携帯電話への連絡がより確実に繋がります（電話に出ない場合は、メッセージを残してください）。

銀座書齋 03-3547-6044

講師携帯 03-8309-4438

## 11 講師に対して相談がある場合

受講生が講師に対して何らかの相談がある場合、受講生は、通常レッスン・スタート時、あるいは、電話にて、その旨について相談することができます。相談内容は、レッスンにおける学習内容、レッスンの復習方法、あるいは、それ以外の案件、例えば、自分磨き・生き方の問題等、その類を問うことなく、受講生は講師に対していかなる問題についても相談することができます。

受講生が通常レッスン・スタート時、あるいは、電話で講師に相談をした場合、講師がそ

の相談に乗る上で「相当の時間」が必要であると判断した場合、講師は、通常レッスン以外の時間において、その案件についての相談に乗る目的で別の時間枠を捻出。「面会時間」を設け、受講生における問題の解決を目指し、一緒に、時間をかけてゆっくりとその解決方法について模索していきます。

## 12 レッスン受講終了（退会）の手続き

受講生がレッスン受講を終了し教室を退会する場合は、レッスンを終了する月の前月の第1回目のレッスン・スタート時まで、口頭で、講師に直接、その旨を伝えてください（メールは不可）。

当教室は、「国際コミュニケーションの真髄」を教授する教室です。大切な用件について、「メールではなく、『実際の会話』で相手に伝える」という行為も、「当教室のレッスンの一つ」として捉えてください。